3

大津再発見　苦難を乗り越えてきた不死鳥の寺　～三井寺編～

日時：令和3年10月16日（土）　１３：３０～１６：００
場所：三井寺（園城寺）
受講生：１６名
講師：天台寺門宗総本山　三井寺(園城寺)執事長　福家　紀明 氏

【講座内容】
〇オリエンテーション
〇拝観及び講話　（それぞれの拝観場所にてお話）
〇意見交換会

【概　　要】
　福家氏の案内で、仁王門→釈迦堂→光浄院→金堂→三井の晩鐘→閼伽井屋→弁慶の引摺り鐘→一切経蔵→唐院→毘沙門堂→観音堂を拝観しながら、お話を聴いた。講話においては、福家氏から三井寺のこれまでの経緯やその地域のさまざまな願いや闘いなど詳しくお話いただいた。本来は拝観することができない国宝の「光浄院客殿」も案内いただき、客殿の上座の間、次の間の狩野派の障壁画の繊細かつ緻密で、色鮮やかさに目を奪われた。また、室内から眺める庭園は、広縁をとおして人と自然をつなぐ建築空間の演出で、心の癒しや明日ら儀を感じずにはいられなかった。大津市の寺院の素晴らしさ、奥深さに認識を新たにした。

【受講生のことば】
　延暦寺を山門、三井寺を寺門と称し、天台宗は二分され、その後、両派の対立や源平の争乱、南北朝の争乱等による焼き討ちなど、幾多の法難に遭遇しましたが。智証大師への信仰による人々によって支えられ、その教法は今日に伝えられています。また、ご本尊を守ってこれたことは、奇跡に近いと思いました。初めて三井寺に入場して、境内の広さにも驚きました。　（河野　安明 氏）

【当日の様子】

三井寺の拝観